

## 【日本マイクロ・ナノバブル学会 理事会 議事録】

議事録作成者：日本マイクロ・ナノバブル学会  
事務局 屋敷 聡

- 開催日時：2024年2月20日（火）15:00～16:30
- 開催場所：Web 開催（ZOOM 使用）
- 当法人の理事の総数 7名  
出席理事数 6名
- 当法人の監事の総数 1名  
出席監事数 1名

### 出席詳細

役員	出欠	氏名	所属および役職
理事	○	大平 猛	東京大学 物性研究所原田研 大平開発ユニット ユニット長
	○	玉置 雅彦	摂南大学 農学部 農業生産学科 作物科学研究室 教授
	○	白井 泰雪	東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授
	○	川罵 真人	社会医療法人玄真堂 川罵整形外科病院・かわしまクリニック 理事長
	×	長島 孝行	ヤマザキ動物看護大学 動物看護学部 動物人間関係学科 学科長 教授
	○	川端 鋭憲	NPO 法人 生命科学技術普及センター 理事長
	○	原田 慈久	東京大学 物性研究所 極限コヒーレント光科学研究センター 軌道放射物性研究施設 教授
監事	○	田瀬 憲夫	弁護士法人大手町法律事務所所属
顧問	○	円谷 智彦	一般社団法人日本エコ・アグリテクノロジー 代表理事

以上のとおりの出席が有り、定足数（理事過半数）4名を超える6名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認後、代表理事大平猛が議長として進行した。

### 【報告事項】

#### 第1報 第11回学会総会の開催報告（会計報告を含む）

議長は、第11回学術総会大会長の小林史幸先生に開催報告を求めた。小林史幸先生から会計報告を含む開催報告があった。

議長は、参加者に意見・質問があるようなら、挙手を求めたが、特に意見がなかったため、進行を進めた。

### 【決議事項】

#### 1. 第一号議案：監事の選出について

議長より、2023年12月11日開催の定時社員総会の終結と同時に任期満了となった監事村上眞樹氏に代わって、現顧問の円谷智彦氏を監事に選出したいとの提案があり、選出理由について、推薦者の大平猛理事が説明した。

議長は、下記監事候補者につき審議を求めたところ、満場異議なくこれに賛成したので、下記のとおり監事を選出することになった。

監 事 円谷 智彦

## 2. 第二号議案：名誉会員の設置について（理事賛同人数などの選出法を含め）

議長より、当学会に何らかの功績のあった方への感謝の意を表すために、名誉会員の設置を希望され、名誉会員は会費の支払はないが、会員として学術総会やセミナーにご参加頂くこととしたいと説明された。また、これまで監事として学会運営にご尽力頂いた村上眞樹氏を名誉会員に選出したいとの提案があった。田瀬憲夫監事からは、定款に定められていることに越したことはないので、名誉会員については、社員（正会員）と同様に扱うが、議決権や理事になることができない会員としてはどうかとの意見があった。

議長は、出席者一同に異議を問いたが、異議なく、満場一致を得て、決議された。今後は、事務局で定款変更の案を作成し、理事会に諮ることになった。

## 3. 第三号議案：第12回学術総会開催概要提示 大会長：阿部展次先生

議長は、第12回学術総会大会長を医学部会の評議員である阿部展次先生にお願いした事を報告した。阿部先生からは、自己紹介された後、第12回学術総会の開催概要を提示した上で、下記の説明があった。

—今回は、明治大学駿河台キャンパスのリバティタワーでの1日開催（12月1日）とする。

—目玉は、特別講演が2演題あること。

—ワークショップは、医工農環境連携で指定演者1名と公募2名で行う。

—ランチョンセミナーは、札幌医科大学の消化器外科領域の先生に行ってもらう。

—パネルディスカッションは、医工農連携で行い、指定演者（工学系、農学環境系、医学系）で行う。

—一般演題として、工学系、農学系、各4,5名を一般公募で考えている。

—公募については、4月開始予定としている。実際には、少し遅れ込む可能性があるが、速やかに12月に向けて準備を進めていきたい。

また、医学部会長の大平猛理事からは、ホームページに演者の名前を出さない形で公開したい。また、パネルディスカッションでの農学・環境部会系のパネラー選出については、玉置雅彦理事にお願いしたいなどの意見があった。

議長は、出席者一同に異議を問いたが、異議なく、満場一致を得て、決議された。

## 4. 第四号議案：第一回評議委員会開催について

議長より、第12回学術総会時に評議委員会を開催したいとの提案があった。評議委員会では、学会運営や大会長候補、学会誌など、学会で扱った方がよいことを議論する会とし、第1回は、三部会合同で開催したいなどの説明があった。

議長は、出席者一同に異議を問いたが、異議なく、満場一致を得て、決議された。

## 5. 第五号議案：学会奨励研究助成金制度の設置について

議長より、若手育成のために学会奨励研究助成金制度を設置したいとの提案があった。また、本制度では、優秀な研究課題には年間1件当たり50万円の研究助成とし、年末の学術

総会で研究発表を行うこととする。選出方法は、各部会の業務執行役員が応募のあった研究課題から1件の研究課題を選考してから、理事会で選出された1件から3件に助成金を給付するなどの説明があった。田瀬憲夫監事からは、選考過程がある程度しっかりした形になっていることが必要で、給付金がきちんと助成に使われている報告が必要である。また、業務執行の一環なので、理事会で決議しても問題はなく、助成金制度のアナウンスのタイミングが学術総会開催以降であれば、予算の中に入れておく必要があるなどの意見があった。

議長は、出席者一同に異議を問いたが、異議なく、満場一致を得て、決議された。今後は、業務執行役員会と事務局で助成制度の案を作成し、理事会に諮ることになった。

## 6. 第六号議案：学会の公印デザインの新設について

議長より、学会の公印デザイン（ロゴマーク）を考案したいとの提案があった。原田慈久理事からは、ロゴマークこそ公募の方が良いのではないかと意見があった。また、田瀬憲夫監事からは、外部委託した方が良いのではないかと意見があった。理由として、いくつかの専門業者に条件を提示して、コンペ形式を行った方が、他のデザインと似てしまった時などのリスク回避になるとの説明があった。

議長は、この議案については、引き続き検討していくこととした。

議長は、以上を以て本日の議事を終了した旨を述べ、16:30に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席理事及び出席監事の全員がこれに記名押印する。

2024年2月20日

一般社団法人日本マイクロ・ナノバブル学会定時理事会

議長・代表理事 大平 猛

監事 田瀬 憲夫